

リスクマネジメント最前線

2011-6 (3月23日)

東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050

東京都千代田区丸の内1-2-1

TEL 03-5288-6589

FAX 03-5288-6590

http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/



TOKIO MARINE
NICHIDO

東京海上日動リスクコンサルティング株式会社

http://www.tokiorisk.co.jp/

<東日本大震災 臨時号 No.2>

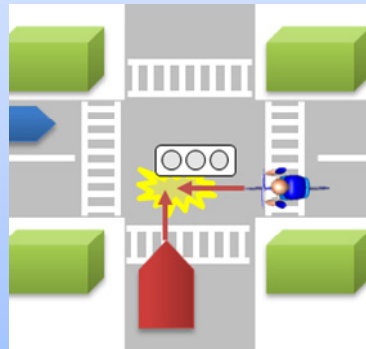
計画停電地域での交通リスク ～警察官等のいない交差点での重大事故～

本レポートでは、東日本大震災による計画停電により、警察官等がいない交差点で自転車・バイクとの接触事故が発生していることを踏まえ、停電時の外出は極力避けることは当然であるが、やむを得ず外出する際の事故防止の安全運転に関して検討する。

計画停電中、警察官等のいない交差点で対二輪重大事故が続発！

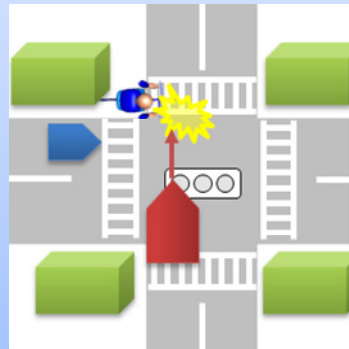
1. 群馬県安中市 (信号消灯、警察官なし)

午前10時半頃、片側一車線の県道交差点で、原付バイクとその左側から出てきた軽乗用車が出会い頭に衝突し、原付バイクの運転手が死亡した。



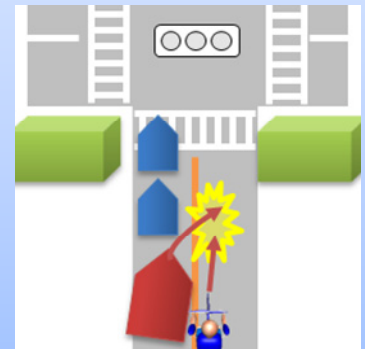
2. さいたま市北区 (信号消灯、警察官なし)

午後6時20分頃、国道交差点で、4トントラックが交差点に進入しようとした際、左側から来た乗用車で死角となっていた横断中の自転車と接触し、自転車の運転手が意識不明の重体である。



3. 神奈川県厚木市 (信号消灯、警察官なし)

午後6時40分頃、片側一車線の通常は交通量が少ない県道交差点で、交差点付近で軽乗用車が渋滞を避けようと車列を抜け出し、これを避けようとしたオートバイが転倒して軽乗用車に衝突し、オートバイの運転手が死亡した。



※上図は各種報道から類推したものです。

事故概要

事故原因

交通量が少ない交差点進入時の油断による確認不足

自動車の死角ゾーンにいる二輪車の確認不足

渋滞時、後方確認不足での車線変更

【信号のない交差点進入時のポイント】

- ・ 同様な道幅の交差点では、交差道路の左側から進行してくる車両の進行を妨害してはいけない。
- ・ 交差する道路が優先道路である場合、交差する道路幅が明らかに広い場合、交差する道路が優先される。

対応・対策

【前提】計画停電地域の交差点は、警察官等がいないことを想定して運転する。

(例えば、前橋・高崎・藤岡署管内では約2600の信号機が滅灯したが、警察官が配置されたのは121か所であった。『東京新聞』2011年3月17日)

3つの重大事故から以下の点に注意することが必要である。

- ①交通量の少ない交差点であろうと、徐行で進入する。
- ②交差点内では、車両の死角となっている二輪車に注意を払う。
- ③渋滞中や交差点前後の無理な車線変更は行わない。